

## 玉川 太福

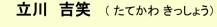
(たまがわだいふく)

新潟市出身、千葉大学卒業、 2007年玉川福太郎に入門。 玉川一門ゆかりの古典演目 を継承する一方、新作にも積 極的に挑戦。「地べたの二 人」「寅さんシリーズ」など浪 曲の魅力をフレッシュに発信。 2022年花形演芸大賞銀賞。 2023年彩の国落語大賞特別 賞。2025年、新宿末廣亭1月 下席で、浪曲師として60数年 ぶりの主任(トリ)をつとめ、 10日間大入満員という歴史 的な興行。笑点などテレビ、 ラジオの出演も多数。今、浪 曲界を引っ張る存在として、 笑いと感動をお届けに、さら にビッグになり平田に凱旋!



## 玉川 みね子

酒田市旧平田町出身。福太郎の相三味線を つとめ、現在はベテランから一門の弟子まで の曲師として活躍。後進の育成に努めてい る。日本浪曲協会参与。当公演の出演者調 整もお願いしている。三味線の調子もますま す冴える。



2010年11月、立川談笑に入門。2012年4月、二ツ目昇進。 2025年6月、真打昇進。

古典落語的世界観の中で、現代的なコントやギャグ漫画に近い 笑いの感覚を表現する『擬古典〈ギコテン〉』という手法を得意と する。『中央公論』での「炎上するまくら」、『note』での「立川吉笑 ウェブ書斎『羅房』」など、執筆業にも積極的に取り組んでいる。 主な著作に『現在落語論』(毎日新聞出版)がある。

春風亭昇々・瀧川鯉八・玉川太福が所属する創作話芸ユニット 『ソーゾーシー』のメンバー。

ようこそ落語立川流!「吉笑ワールド」を堪能あれ。

(かせん)

墨田区向島出身。

2004年4月江戸太神楽(えどだいかぐら)鏡味 小仙(現. 丸一仙翁社中(まるいちせんおう しゃちゅう))に入門。

お馴染みの傘回しはもちろん、投げる曲芸、 バランスの曲芸など、アッとおどろく、楽しく華 やかなステージに乞うご期待!